

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	2 教育課程等
中項目	
小項目	2.0.1 学習目標
要素	学習目標をシラバス等に明記し、学生に周知公表をしているか。 学習目標の達成のために、授業科目履修指導指針を定め、履修相談に応じる配慮をしているか。 学習目標の達成のために、学生、教員及び職員間のコミュニケーションシステムを構築し、学習相談及び学習助言の円滑化を図る方策をとっているか。
小項目	2.0.2 教育課程
要素	教育課程の編成において、「教育研究上の目的」を達成する理論的教育と実務的教育の架橋に留意し、マネジメントの教育研究及び実務の動向に配慮しているか。 教育課程の編成において、企業等組織のマネジメントに係る高度専門職業人育成に必要な高度の専門的知識・技能と高度の職業能力の修得、職業倫理観の涵養及び国際的視野の拡大に配慮しているか。 教育課程の体系的な編成において、マネジメント教育に必要なコア科目への分類を含めて体系的に配置しているか。 教育課程を検証するプロセスを明確に定め、継続的に検証しているか。 他研究科の授業科目の履修、他大学との単位互換、インターンシップによる単位認定等の措置を講じているか。 授業の方法において、実践的な教育を行うために事例研究、現地調査、双方向又は多方向に行われる討論又は質疑応答その他の適切な授業の方法を導入しているか。 授業の方法において、多様なメディアを高度に利用して通信教育の授業を行う場合には、授業の実施方法の整備に努め、教育効果の向上に努めているか。
小項目	2.0.3 教育水準
要素	教育内容の水準を維持していくために、学習環境及び学習指導体制を整備しているか。 教育内容の水準を維持していくために、1単位の授業科目の学修に必要とされる授業時間を確保しているか。 教育内容の水準を維持していくために、授業科目の時間割配置を適切にし、授業科目の履修登録単位数の上限を設定し、授業科目の履修を適切にする指導をしているか。 教育内容の水準を維持していくために、履修した授業科目の学業成績の評価基準及び教育課程修了の判定基準を明確に定め、学則等に記載し、学生に周知公表しているか。 教育内容の水準を維持していくために、学業成績の評価及び課程修了の判定を公正に実施し、客観性と厳格性が得られる措置を講じているか。 教育内容の水準を維持していくために、授業科目の履修登録の学生数を、授業の方法等の教育上の諸条件を考慮して授業の教育効果が十分に得られる適正な数としているか。 教育内容の水準を維持していくために、留学生等の学生の多様化に対応した履修指導、学習相談及び進路指導等の学生支援を適切に行っているか。また、通信教育を行う場合には、十分に配慮した学生支援を適切に行っているか。 教育内容の水準を維持していくために、学生の科目履修及び単位取得の状況等についての情報を教員間で共有し、必要な改善措置を講じているか。 標準授業年限を短縮している場合には、「教育研究上の目的」に照らして、十分な教育成果が得られる教育方法及び授業時間割設定の配慮をしているか。
小項目	2.0.4 教育研究の質維持向上の取組
要素	開講する各授業科目の授業目的、授業内容、授業計画、授業方法、使用教材、オフィスアワー及び授業評価基準等を明記し、学生の学習目標の達成に資する内容のシラバスを作成し、公開し、ビューアレビューによるシラバスの検証をしているか。 学生の科目履修状況、課程修了状況、単位取得状況、学業成績状況及び進路状況等の調査から、また、ステークホルダーの意見等から、教育課程の改善の検証をしているか。 教育研究の質維持向上を図るために、自己点検評価を継続的に行い、その評価結果を広く社会に公表しているか。 教育研究の質維持向上を図るために、自己点検・評価の結果をフィードバックし、教育研究の質の維持向上及び改善を図る組織的な研修をしているか。 教育研究の質維持向上を図るために、教員の優れた教育及び研究の業績を評価する制度を整備しているか。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. Organize the curriculum, in terms of time and contents, so that it would be easier for the working students to take classes. 多忙な社会人学生が受講しやすいような時間と内容に配慮したカリキュラム体系の整備	→Provide the courses by e-learning, establish the courses conducted mainly on Saturdays and Sundays, and provide the pre-courses before entrance for students to learn mathematics, statistics, and to learn how to use PCs. eラーニングでの科目提供や土日集中型履修コースの設置と入学前の主として数学・統計学とパソコン操作等に慣れるためのプレコースの提供	D
2. Adjust curriculum to maintain a good balance between rigor (academic theory) and relevance (practical application) of the content of our courses. (カリキュラムを改善し、授業内容のrigor (学術的理論)とrelevance(実践)の良いバランスを維持する)	→Examine curriculum to determine appropriate balances of rigor and relevance. (rigor及びrelevanceの適度なバランスを保つため、カリキュラムを検討する。)	A
3. Examine courses and adjust number and type of electives. (授業科目の検討と選択科目の数・種類の調整を行う)	→Examine the overall number of our elective course offerings and add and delete where necessary. (アドバンスド科目全体の数の検討。必要に応じて追加・削除。)	B

4. Examine our main courses and adjust the sequencing where necessary. (主だった授業科目の検討と履修ステップの調整を行う)	→Examine the core and basic courses and where necessary and possible introduce prerequisites and sequencing. (コア及びベーシックの検討。必要に応じて先修条件科目と履修順を導入。)	⇒ C
5. Develop the option of having Japanese language and Japanese business/management as a more prominent part of our curriculum. (カリキュラム内で、日本語及び日本型ビジネス・日本型経営への理解を深められる選択肢を開発していく。)	→Examine the number of courses offered on the Japanese business environment and work with other units of Kgu to develop options for Japanese language courses for our students. (日本型ビジネス環境に関する科目数を検討し、大学内の他学部と協同で日本語クラス履修の選択肢を準備する。)	⇒ C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

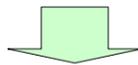
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目2.0.1	(現状説明) シラバスによる授業内容の開示に加え、新入生のための履修相談会を開催している。オフィスアワーを全教員が設け、社会人学生とのコミュニケーションを図っている。
★ 小項目2.0.2	(現状説明) 実務の動向を常にキャッチし講義の中に取り込んでいる。実務経験豊富な教員が多く学生から信頼を得ている。科目に対しコア、ベーシック、アドバンストの区分を設け、メリハリのついたカリキュラムを提供、学生の選択の指針にしている。学生からの授業評価制度を実施している。他研究科、他専攻等の単位互換制度があり、多くの学生が利用している。授業のスタイルは、講義形式、グループ学習、ケースワーク、プレゼンテーション等多彩であり、企業現場でのやりとりの感がある。演習やデータ分析でPCの利用が多い。またビデオを用いた授業もある。
★ 小項目2.0.3	(現状説明) 図書の実態に加え、マクロや企業財務等のデータベースを利用可能にした。休日利用や休講時の補講によって所定の授業時間を確保している。成績判定基準をシラバスに記載、また学生からの成績調査依頼にも対応している。各科目ごとの成績分布を公表し、教員間のばらつきを少なくし公平な評価に心掛けている。科目ごとの履修者数を制限するため、年複数回の開講を行う授業が存在する。
★ 小項目2.0.4	(現状説明) 目的、内容、評価方法、参考図書等の科目詳細はシラバスで示している。授業評価、学生や社会のニーズ、成績分布等の情報を駆使して改善を常に図っている。
★ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目2.0.1	
小項目2.0.2	実務動向をタイムリーに反映した授業が多く学生からの評価が高い。
★ 小項目2.0.3	
小項目2.0.4	米国のビジネススクールと連携して提供しているGBP (グローバル・ビジネス・プロジェクト) の評価が高い。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

小項目2.0.1	
小項目2.0.2	
★ 小項目2.0.3	
小項目2.0.4	GBPのより一層の推進
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目2.0.1	社会人が履修しやすいカリキュラム体系の整備やプレコースの設置。
小項目2.0.2	
★小項目2.0.3	学生の科目履修状況との情報が教員間で共有されにくい。
小項目2.0.4	処遇制度を含め、教員に対する評価制度が確立していない。
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目2.0.1	引き続き、社会人が履修しやすいカリキュラム体系の整備やプレコースの可能性を検討してゆく。
小項目2.0.2	
★小項目2.0.3	教務学生委員を中心とした情報共有とPDCAサイクルの効果的・効率的回転。
小項目2.0.4	ベスト・ティチャー賞の導入をFD委員会で検討中である。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 各項目について、実施されている施策を列挙するだけでなく、要素に関してどのような施策が実施されていて、どのように成果があがっているか、説明することが期待されます。進捗評価は、目標を基準に測られるものですから、現在の時点でAと評価される目標については、新たな目標を設定することが望まれます。
- 様々な施策を講じ、小項目の要素で挙げられているような事項についても充実した教育課程を提供されていることは評価されます。現状に満足せず、さらに改善、向上するために、“改善すべき事項”については「検討」ではなく、具体的な方策が記述されることが望まれます。
- 2009年度の分野別認証評価において課題が示されています。対応はいかがでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

「学生の勤務先、履修状況等」の情報を教務学生委員に集中、問題の早期発見、より学習ニーズに合った履修指導を可能にする。